



西本社長

マークテック（西本圭吾社長）はこのほど本田工業（大阪市）の全株式を取得、連結子会社化した。これを契機として同社は非破壊検査、印字・マーキングの両事業に次ぐ第3の事業構築のための事業を展開していく。

マークテック

本田工業を子会社化

技術承継事業の第1弾

子会社化した本田工業は、「試すこと、感じることを科学する」をモットーに、動風圧試験装置の建材関連試験装置や風洞システムなど、様々な試験装置の設計・製作に関する独自技術に強みをもち、ユーザーニーズに

品質保証を科学するものづくり集団として、非破壊検査、印字・マーキングの両事業を展開してきた。事業展開について、西本社長は「かねてから両事業に加え、第3の事業を構築するべく事業構想を模索してきた経緯があり、具体的には、30年先を見据え、新たにM&Aを中心とした資本提携、業務提携、技術提携によ

る『品質保証に関連する技術力ある中小製造企業』の受け皿『技術承継事業』を構築するという戦略的なビジネスモデルに取り組んでいく」と話す。同社グループが「技術力ある中小製造企業」を承継することで、技術力があるにもかかわらず、後継者不在によって廃業せざるを得ない中小製造企業の雇用を確保し、独

自の技術、事業を承継、後世に残すことが可能になるとしている。

今回の子会社化は、品質保証に関する技術承継事業の第1弾となり、動風圧・断熱・風圧試験装置の設計・製造の技術承継を実現。また、本田工業がこれまで培った技術力と人材をグループ内に取り込むだけでなく、各

種動風圧・断熱・風洞試験装置販売における高い国内シェアを短期間で獲得できる。

本田工業（10月5日現在）の役員構成は次の通り（敬称略）

【代表取締役社長】西本圭吾（新任）【取締役】魚住弘（重任）小野友弘（新任）藤本貴司（同）【監査役】石田高久（同）